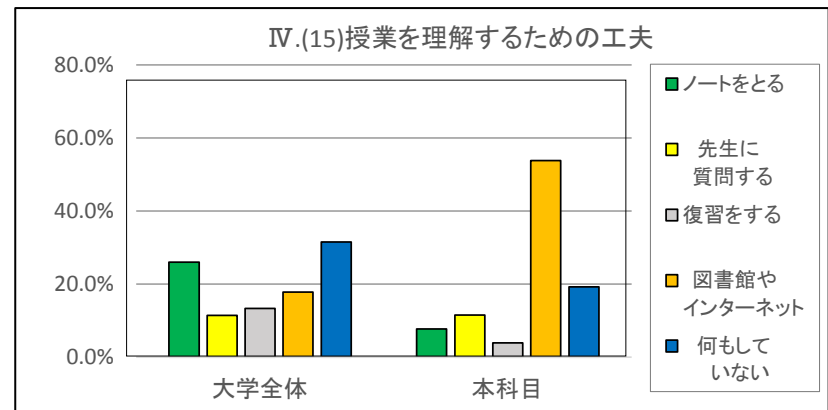


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	7.7%	11.5%	3.8%	53.8%	19.2%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.38	3.45
	I.(2)	3.54	3.56
	I.(3)	3.42	3.07
講義内容・方法	II.(4)	2.92	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.23	3.33
	II.(8)	3.31	3.42
	II.(9)	3.19	3.30
	II.(10)	3.31	3.23
	II.(11)	3.54	3.21
	II.(12)	3.31	3.48
	II.(13)	3.35	3.45
満足度	II.(14)	3.42	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	51112
科目名	教育方法・技術論B(中等)
教員名	金山 憲正

①授業計画の達成度について

ICTの活用とそれを活用した指導についての方法と活用するための技術の習得について当初の講義のねらいを計画通り達成できたと考えている。ただ、ICTに関する技能面ではスマートホンの操作は得意であるがパソコンの操作を得意としない学生が一部に見られたことも事実である。その学生には個別の追加課題で対応し時間は要したがねらいは達成することができた。

②授業の進め方について

ICTの技術習得および教育方法の今日的課題についての追究の学修への取り組みは個人での活動が主であった。教育方法・技術論(初等)がグループ活動が中心であったので個での取り組みに対しては注意深く見守りながら授業を展開した。結果、教育実習を経験してきたこともあり、個々の学生は現場の実態から学んだことを手がかりにそれぞれが課題を的確に捉えその究明に向けて主体的な取り組みで学修が進められていた。問題解決型の授業というのを学生自身が体験することにより、より深く理解できたように思える。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

アンケート項目「授業を理解するための工夫」で「図書館やインターネット」が54%あったことは嬉しいことである。。これは、教育方法・技術論(初等)で個人開設のHPから用意された資料ではあったが参考にして課題の解決に取り組んだ経験が生かされたのではないかと考える。ここから、提示する資料の内容と量について吟味し改善していく必要性を強く感じた。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.45	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.27	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.42	3.41